

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38350
事業名	保育人材確保緊急対策費					
評価担当課	所属名	子)子育て支援 保育推進課				
	課長名	西山 謙一	担当者名	山吹 敏彦	電話番号	011-211-2346
施策名	主	子ども・若者を社会全体で育成・支援する環境づくり				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	令和3年度中に、保育士等支援費(短縮コード37857)と合わせて、保育所等で就労する保育士を188人確保する。			
		長期	令和元年度～5年度の5か年度において、保育士等支援費(短縮コード37857)と合わせて、保育所等で就労する保育士を、平成27年からの累計で1,200人確保する。			
	取組内容	新規保育士確保のほか、潜在保育士の掘り起こし、現役保育士の就業継続支援等を目的として、下記の事業を実施する。 ①「保育支援者配置補助事業」により、保育士資格を有しない保育支援者の経費(1時間当たり450円、1事業所上限月10万円)を補助する。 ②「保育人材確保に向けた一時金給付事業」により、就業年数3年、6年、9年継続した保育士等に対し、給付金10万円を支給する。 ③「潜在保育士短時間就労支援補助事業」により、潜在保育士の再就職に係る経費(1時間当たり1170円、1事業所上限月10万円)を補助する。 ・各補助事業の実績は、「保育人材確保に向けた一時金給付事業(1,145人)」「保育支援者配置補助事業(214人)」「潜在保育士短時間就労支援補助事業(106人)」となった。 ・「保育人材イメージアップ事業」では、若年層をターゲットとしたYouTube動画を制作し、WEB広告を実施した。 ・保育士等支援費(短縮コード37857)の事業と合わせて、合計189人の保育士の就労に繋げた。				
実施結果						
事業実施における工夫点	各補助事業は、令和元年10月開始事業であるため、事業周知を引き続き行うとともに、「保育人材イメージアップ事業」ではターゲットニングと効果(視聴回数など)を明確にするなどして工夫した。					
対象者	潜在保育士及び現役保育士、保育士資格を取得予定の新卒者等	開始	平成31年度	終了	0年度	
関連法令・条例・要綱等	児童福祉法 札幌市児童福祉法施行条例					
他都市の状況	■保育支援者配置補助(大阪市等)、■保育人材確保に向けた一時金給付(【類似】神戸市)、■潜在保育士短時間就労支援補助、■保育人材イメージアップ(川崎市・広島市等)、■保育人材定着化研修事業(大阪市等多くの自治体で実施)、■保育士年休取得等支援(堺市)					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	174,089	317,000	301,146	327,000	
うち特定財源	23,613	103,110	58,012	79,259	
人工	0.4	0.4	0.0	0.4	
人件費	2,880	2,880	0	2,880	
計(事業費+人件費)	176,969	319,880	301,146	329,880	
事業費の内訳	令和3年度決算	決算額 301,146千円 <内訳> ・保育支援者配置補助事業 81,367千円 ・保育人材確保に向けた一時金給付事業 114,500千円 ・潜在保育士短時間就労支援補助事業 15,121千円 ・保育人材イメージアップ事業 9,624千円 ・その他 80,534千円			
	令和4年度予算	予算額 327,000千円 <内訳> ・保育支援者配置補助事業 132,960千円 ・保育人材確保に向けた一時金給付事業 152,200千円 ・潜在保育士短時間就労支援補助事業 32,216千円 ・保育人材イメージアップ事業 9,624千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	保育人材確保施策により就労に至った保育士の数(累計)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	824	1012	1013	1200	
	指標名				
活動指標2	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標1					
	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	各補助事業において、申請人数及び施設数が見込みより少なかったことから、さらに事業周知等を図り、補助活用を推進していく必要がある。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	各種補助事業の補助基準等について、国補助金対象事業(保育支援者配置補助)は、その基準に準じているほか、市費単費事業(勤続年数に応じた一時金、潜在保育士短時間就労支援補助)については、他政令市の基準等を参考に設定しており適切である。			
事業の実手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	各補助事業の事務処理等及び保育人材イメージアップ事業は、業務委託により実施しており、効果的、効率的に実施している。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	各事業の取組みにより、新規保育士確保のほか、潜在保育士の掘り起こし、現役保育士の就業継続支援に繋がっている。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	各補助事業において、申請人数及び施設数が見込みより少なかったことから、対象となる保育士及び保育施設等に対し、さらに事業周知等を推進していく。また、必要に応じて、補助を利用していない保育士、保育施設等に対し、その理由等の確認を行い、改善に繋げる。				
前回の評価	○ A ● B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	各補助事業の申請に関して、保育施設等に対し、提出期限までに複数回のリマインドメールを送信するなどして周知を重ね、申請を促した。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	○ A ● B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	各補助事業において、申請人数及び施設数が見込みより少なかったことから、対象となる保育士及び保育施設等に対し、さらに事業周知等を図り、補助活用を推進していく。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 各補助事業の対象となる保育士、保育施設について、事前にニーズ調査を実施し、必要な予算額を計上した。引き続き、事業周知に努め、必要な補助を適切に実施していく。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 各補助事業のニーズ調査を実施したうえで必要額を見込み、全体としては概ね現状維持とした。		見直し効果額	0